

下水管路施設の管理業務における民間活用手法導入に関する検討会

設置趣旨

- 下水道整備の進捗に伴い、今後、管理すべき下水道施設のストックが着実に増加していく中で、管理の質を確保し、かつ高めながらトータルコストを縮減をすることは、厳しい財政状況にある地方公共団体において重要な課題となっている。
- 特に下水道管路施設は、全国的な老朽化の進展に伴う道路陥没事故が増加しており、予防のための早急な対応が求められているが、現在の維持管理の手法は、事故が発生してから対応する事後対応型が中心となっている。
- このような課題に対応するには、民間活力を積極的に活用して、維持管理業務の質の向上と効率化を図ることが有効である。
- このような状況を踏まえ、本検討会は、下水道管路施設の点検、診断、修繕を組み合わせた新たな包括的民間委託の導入手法について、2つのモデル自治体（八王子市、河内長野市）における適用の検討も踏まえながら、実用可能性、課題を抽出し、導入ガイドラインを作成し、下水管路施設管理業務の包括的民間委託の全国的な事業普及につなげることを目的に設置するものである。